

北陸土木コンクリート製品技術協会との意見交換会を実施

北陸地方整備局は、令和6年8月29日（木）新潟市内において、（一社）北陸土木コンクリート製品技術協会と、土木用コンクリート二次製品の活用や今後の取り組みについて意見交換会を実施しました。

【議題】

- ①社会資本の整備・維持管理・更新に必要な事業費の確保について
- ②工事発注時期の平準化について
- ③令和6年能登半島地震における被害と対応について
- ④物流費の高騰による地域別設計単価の設定について
- ⑤提出書類の簡素化について
- ⑥『土木用コンクリート製品設計便覧』活用の専門委員会設置のお願い

【北陸地方整備局からの情報提供】

- ①令和6年度の予算と主要事業
- ②建設業における働き方改革の取り組み
- ③i-Construction2.0



（写真）意見交換の様子

【主な意見交換の内容】

- 地域社会の安全・安心のため建設産業の主要資材であるコンクリート製品は、地域での安定供給が不可欠。
安定した事業量の確保をお願いしたい。⇒ 必要な予算確保に努めたい。
- コンクリート製品の出荷量は年度末に集中。施行時期の平準化、受注者が早めに製品会社と契約できる環境支援をお願いしたい。⇒ 「さしすせそ」による平準化、他発注機関への働きかけにも努めたい。
- 能登半島地震の復旧・復興にあたっては、コンクリート製品の集中需要が見込まれる。情報提供をお願いしたい。
⇒ 石川県や建設業協会からなる「能登半島地震復旧工事情報連絡会議」での情報等について共有したい。
- 「製造管理技術委員会」で「製造品質認定書」の発行を受けた製品は、工事における関係書類の提出や受入検査が省略されることについて徹底をお願いしたい。⇒ 徹底されるよう基準等への反映を検討したい。